

## 活力と魅力あるまちづくり

産業構造が変化するなか、市民や企業、行政相互による地域経済を発展させるしくみの構築が望まれています。

これからは、市内に根づく活力ある産業を支え、新たな産業育成を図るとともに、市内外から人が集まる魅力あるまちづくりをすすめます。

# 活 力 と 魅 力 あ る ま ち づ く り

『活力と魅力あるまちづくり』は、以下の2つの視点で取り組みます。

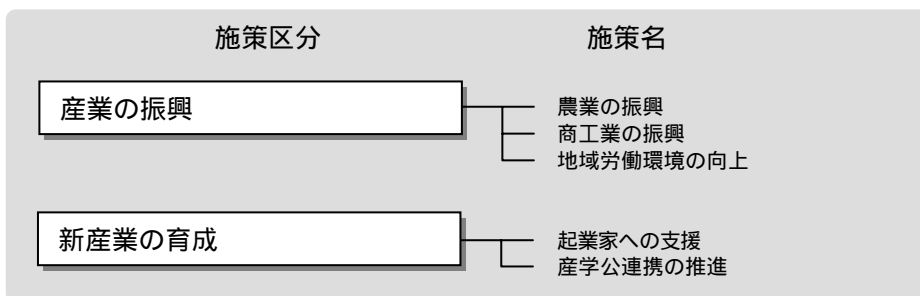
## 活力ある産業のために

〔活1〕

市場のニーズに応じて産業構造が変化するなか、本市においては農業の経営耕地面積の減少、大手工場の移転や規模縮小、また、近隣地域の活性化による購買流出などの動きが見られます。一方、農業は食の新鮮さ、安全性、農地の保全の観点からの期待が高く、地域での流通・販売の促進が求められています。工業では、技術力の高い小規模工場の今後の発展が期待されます。また、商業においては、市の人口密度の高さなど商業環境を取り巻く潜在的可能性は高く、活力のあるまちづくりのために、商業の活性化は欠かせないものです。

地域経済の維持・発展のために、既存産業の新たな展開や、よりいっそうの振興を図るとともに、労働環境の向上をめざします。

さらに、これからは時代に対応した新たな産業の開発がしやすい環境をつくり、コミュニティビジネスやベンチャービジネス、SOHOなどの起業家支援や商店街活性化のための創業支援、産・学・公の連携等を推進していくなかで、地域の活力の創出を図っていきます。

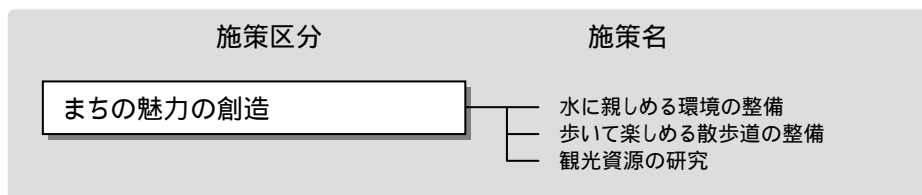


## 人が集まるまちになるために

[活2]

まちの活力を維持するためには産業の活性化はもとより、人が集まるまちづくりが大切です。そのための魅力づくりとして、市内のみどりや川などの自然を保全、活用しながら、自然空間の憩いの環境づくりが必要となります。

日中や休日に訪れることのできる憩いの場や、水やみどりに親しみ遊べる場など、人が集しやすい環境を整備していきます。また、全市的なまちの魅力の創造として、市内に存在する自然環境を活かした散歩道などを整備し、それらを楽しむための散歩会や散策ルートの設定などの活動づくりをすすめるほか、多様な観光資源を見出し活かす方策の検討を行い、人が集うまちを実現します。



～ 活力ある産業のために ～

## 産業の振興

### 現状 課題

経済のグローバル化・情報化の進展により、さまざまな産業の生産拠点が海外に移ったり、新たなビジネスチャンスが生まれたりするなど、市場のニーズを察知して産業界は常に変化しています。

本市においても、農業の経営耕地面積の減少、大手工場の移転や規模縮小などにより、産業構成としては第3次産業の占める割合がますます高くなっていますが、農業・工業についても今後とも新たな展開が期待されます。特に農業については、食の安全性や新鮮な生産物の供給の観点からの期待も高く、農地の積極的な保全とともに地域での流通・販売の促進が望まれています。

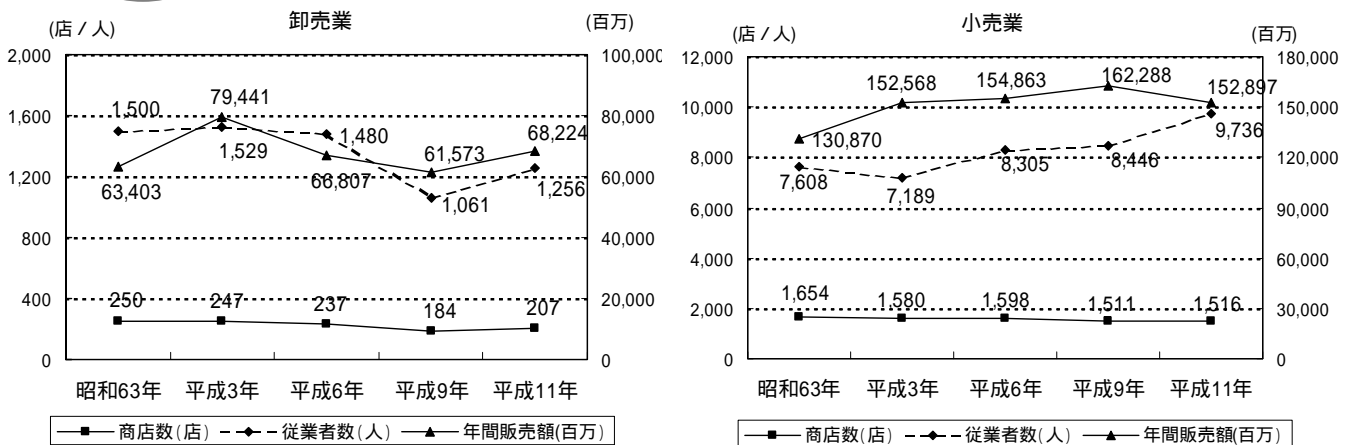
また、工業については、小規模であっても技術力の高い工場が市内に点在するなど、今後とも市内の産業としての発展が期待されます。商業については、その活性化が活力あるまちづくりには欠かせないものです。消費者のニーズを的確にとらえた商業展開とともに、商業者と地域住民との連携によるまちづくりが期待されます。

そしてこれからの西東京市では、都心に近いという地理的利点を生かし、システム開発センターなどの情報産業など、大規模な用地を必要としない形態の産業の発展が期待されます。

産業が活性化することは、地域経済の発展にもつながり、市民にとっても就業の機会が増えることにもなります。関係機関と連携しながら働く場としての西東京の魅力も高めていく必要があります。

### 背景 データ

#### 西東京市の商店数、従業者数、年間販売額の推移



資料：商業統計調査報告

市内の農業・商工業を振興し、地域経済の発展をめざします。

施策  
内容

農業の振興（活1-1-1）

チップ化した剪定枝や生ごみを堆肥化し利用するなど、できるだけ農薬や化学肥料の使用を抑えた農業を推進します。市内で生産される農産物等の商品価値を高め、収益性の高い産業として魅力のある農業経営となるよう支援します。

市民が生産の喜びと農業に対する理解を深められる機会を提供したり、地産地消を促進するなど、多面的に振興を図ります。

商工業の振興（活1-1-2）

魅力ある商業や商店街をつくっていくリーダーを養成したり、商店街等の組織力を強化するための、広域的な組織づくりをすすめます。そして、商工業者と生活者のパートナーシップによる商店街やまちづくりがすすめられるよう、しくみをつくっていきます。

中小企業者に対しては、自主的な経済活動を促進し、経営の安定を図るための支援をしていきます。

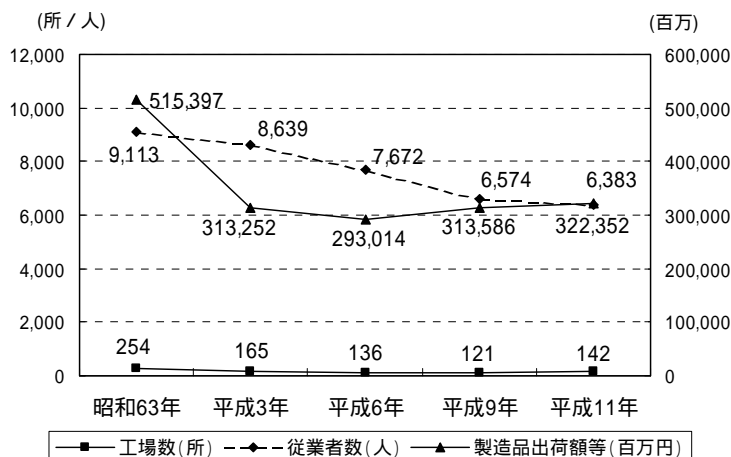
商工業の振興を図るため、拠点整備の検討をします。

情報産業など大規模な用地を必要としない形態の産業を誘致するための方策を検討していきます。

地域労働環境の向上（活1-1-3）

関係機関と連携し市民の就職機会を提供したり、国の中小企業者の退職金共済制度への加入を促進するなど、地域内の事業所やそこで働く人の労働環境改善を支援します。

西東京市の工場数、従業者数、製造品出荷額等の推移



～ 活力ある産業のために ～

## 新産業の育成

### 現状 課題

本市の既存産業を取り巻く環境は厳しさを増しており、事業主の高齢化による後継者不足、不況や消費行動の変化による売上高・事業所数の減少、また、大規模企業の工場移転の動きなど、市内全体において変化が生じています。

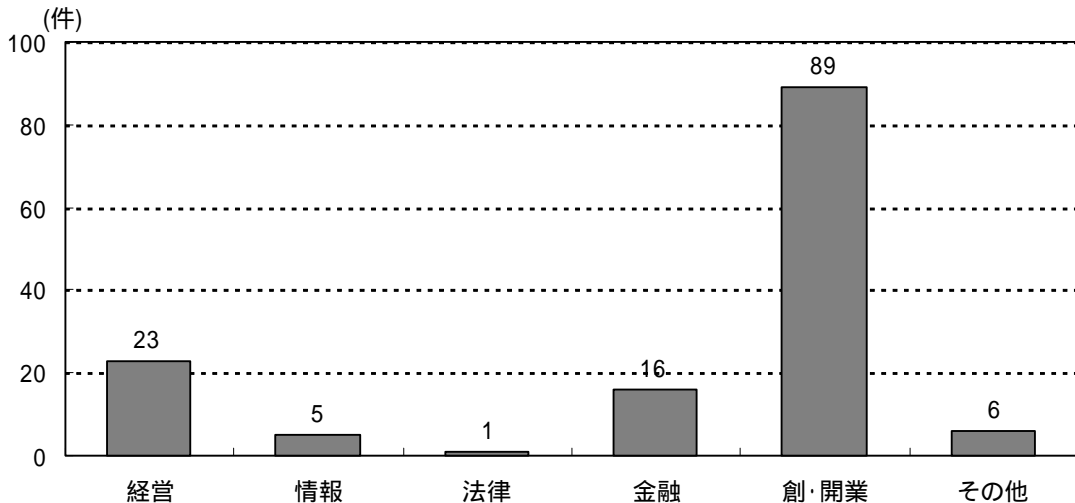
そのなかで、新たな活力を生み出す方策として、コミュニティビジネス\*など地域に根ざした業態やコミュニティFM\*やケーブルテレビ(CATV)\*などの高度情報通信を活用した新産業の育成から、パソコンを活用したSOHO\*や、大学等の研究機関の技術を商品化するための機関の設置など、起業・創業への期待が寄せられています。

個人が創業する際の気軽に相談できる窓口の充実や関係機関との連携、また、研究機関や事業者間を結ぶコーディネート役が必要となっています。

### 背景 データ

#### 西東京創業支援相談センターへの相談例

(平成14年7月～平成15年3月実績)



起業・創業に対する支援を行い、新たな地域産業の活性化をめざします。

## 施策 内容

### 起業家への支援（活1-2-1）

ベンチャービジネス・SOHOなど、これから起業・創業を行う人に対して、事業内容、資金などの相談やアドバイスを行うとともに、その動きを誘発する助成や空き店舗活用、人材育成支援などを行います。

### 産学公連携の推進（活1-2-2）

市内外の大学等の研究機関と事業者および行政が共同または連携して行う「知的資源」を活用した起業や事業化について、コーディネートおよびマッチングを行うほか、新たな展開を模索する異業種間の交流・連携についての調査・研究をすすめます。

## ||用語解説||

### 「コミュニティビジネス」

高齢者の生活支援や子育てサービス、教育、環境など地域ニーズに対応し、身近な地域で、地域の資源を活用して行う小規模ビジネスのことをさす。利益の追求だけにとどまらず、地域の問題を解消していくことをめざすもの。

### 「コミュニティFM（放送局）」

平成4年1月に郵政省により制度化された、市町村に開設するFMラジオ局のことをいい、地元のニュースを中心に、住民参加型で放送をつくっていく地域密着型のメディア。

### 「ケーブルテレビ（CATV）」

アンテナを用いずに、映像を同軸ケーブル・光ファイバー-ケーブルを用いて伝送する有線のテレビのこと。双方向通信が可能で、回線は電話・インターネットにも用いられる。CATVとは、community antenna television（共同体アンテナ-テレビ）の略。

### 「SOHO」

「Small Office Home Office」（スモールオフィス・ホームオフィス）の略で、情報通信技術（IT）を活用して事業活動を行っている従業員10名以下程度の規模の事業者のことをさす。

～ 人が集まるまちになるために ～

## まちの魅力の創造



現状  
課題

人が集まるまちになるためには、地域産業の活性化だけではなく、同時に特徴あるまちづくりが必要です。例えば、景観が整えられた地区や商業を集積させた地区、またはみどりの環境を活かした環境保全地区など、特徴のある空間を人々は楽しみに訪れます。

このような特徴あるまちづくりとして、本市では屋敷林や寺社林を保全し、豊かな自然環境を活かした散歩道を整備するなど、住まいのまちとしてやすらぎと落ち着きを重視してきました。

しかし、景観面も含めた市全域にわたる特徴づくりやさまざまな資源の活用はこれからも展開の余地があり、人が集まるまちとして市内外への周知も求められます。

これからの魅力あるまちづくりには、引き続き自然環境を活かしたまちづくりをすすめるほか、交通機関や商工業との連携や人が集まるきっかけづくり、さらに地域資源の発掘・研究などが欠かせません。



自然環境を活かした特徴あるまちづくりをすすめ、人が集まるまちとなるための魅力を向上させるとともに、人が集うきっかけづくりや観光資源の研究に取り組みます。

## 施策 内容

### 水に親しめる環境の整備（活2-1-1）

市街地を流れる水辺空間を活用し、水とみどりに親しめる憩いの空間にするため、石神井川沿いは、市民に開放された親水広場の整備を検討し、長期的には川沿いのほぼ全線について親水機能のある快適な空間の再生を図ることをめざします。

### 歩いて楽しめる散歩道の整備（活2-1-2）

市内に点在する公園や寺社、散歩道などをネットワーク化し、散策ルートの設定を行うなど、歩いて楽しめる魅力ある空間づくりをすすめます。白子川などふたかけ河川については、緑道化を図ります。東大農場の市民開放を促進したり、空間を活用したイベントを検討するなど、人が集まる市民の活動を創出します。

### 観光資源の研究（活2-1-3）

人が集う魅力あるまちをめざして、市内の憩いの場や交通機関、商店街や特産物などのさまざまな観光資源の活用など、まちの魅力の創出と人が集まるきっかけづくりを研究し、実現へ向けての方策を検討します。